



# 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年2月3日

上場会社名 ケミプロ化成株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 4960 URL <http://www.chemipro.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役会長兼社長 (氏名) 福岡 直彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長兼広報・IR統括 (氏名) 春本 幸宏 (TEL) 078 (393) 2530  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有・無  
 四半期決算説明会開催の有無：有・無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第3四半期の業績（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	6,717	△8.4	432	△16.4	340	△13.9	146	△63.0
23年3月期第3四半期	7,334	54.6	517	—	395	—	394	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	8.82	—
23年3月期第3四半期	23.81	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	13,558	3,775	27.8
23年3月期	12,870	3,634	28.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 3,775百万円 23年3月期 3,634百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有・無

## 3. 平成24年3月期の業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,900	△5.5	450	△22.6	310	△28.7	100	△75.7	6.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有・無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有・無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無

② ①以外の会計方針の変更 : 有・無

③ 会計上の見積りの変更 : 有・無

④ 修正再表示 : 有・無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期3Q	16,623,613株	23年3月期	16,623,613株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	53,551株	23年3月期	53,129株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期3Q	16,570,317株	23年3月期3Q	16,573,783株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	1
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(5) 重要な後発事象 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の国内外経済は、海外において、米国の住宅市場が依然低迷していること、欧州ソブリン債務問題の不安拡大等により、米国経済は一部明るい兆しが見られるものの本格回復には至らず、欧州経済はさらに悪化しており、また、日本経済は、東日本大震災の復興需要等の景気押し上げ要因があるものの米欧経済の低迷と長引く円高により景気鈍化が懸念され、全体として大変厳しい状況となりました。

当社の属するファインケミカル業界は、国内外経済の減速傾向に加え、日本のサプライチェーンの問題に伴い、世界の自動車産業が減速したことにより売上高ベースで厳しい状況となりました。また、収益環境においても、円高の状況が続く中、グローバルな販売価格競争は続いており依然厳しい状況となりました。

このような状況の下、当社の第3四半期累計期間の業績は、東日本大震災、福島第1原子力発電所事故の影響に加え、この10月からは米欧経済の低迷の影響から紫外線吸収剤の主力製品であるベンゾトリアゾール系薬剤の海外向け販売数量が前年同時期と比較し半減のペースとなり、売上高は6,717百万円（前年同四半期比8.4%減）と厳しい状況となりました。利益面は、東日本大震災、福島第1原子力発電所事故による供給サイド不足の悪影響及び原材料価格の高騰による影響をかなり懸念しておりましたが、生産休止となるような事態は回避でき、また、原材料の価格上昇分はリーズナブルな範囲で販売価格へ転嫁できたことと一部の製品でコスト削減効果ができたこと等により、売上高減少に伴う減益要因があるものの、営業利益432百万円（同16.4%減）、経常利益340百万円（同13.9%減）を確保することができました。四半期純利益については、法人税等114百万円、固定資産除却損等特別損失80百万円を計上したことにより、146百万円（同63.0%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (化学品事業)

当第3四半期累計期間の売上高は、グローバルな販売競争が依然続く中、東日本大震災、福島第1原子力発電所事故に伴う放射能問題と10月以降、世界経済の景気低迷などの影響に伴い、主力の紫外線吸収剤の海外向け販売数量が、前年同時期と比較し半減のペースとなり、前年同四半期比891百万円の大幅な減収となりましたが、製紙用薬剤、受託製品、電子材料などが前年同四半期比で増収となった結果、全体では同618百万円減の5,917百万円となりました。

#### (ホーム産業事業)

当第3四半期累計期間の売上高は、木材保存薬剤では東日本大震災の影響に伴う関東以北での減収要因がありましたが新規OEMブランド製品の上市が貢献し、全体では1百万円増の800百万円とほぼ横這いで推移いたしました。

(品目別販売実績)

(単位：千円, %)

セグメント別	期別 区分	前第3四半期累計期間 平成23年3月期		当第3四半期累計期間 平成24年3月期		増減
		金額	構成比	金額	構成比	金額
化学品事業	紫外線吸収剤	4,528,549	61.7	3,637,310	54.2	△891,239
	製紙用薬剤	235,521	3.2	401,973	6.0	166,451
	写真薬中間体	364,102	5.0	375,667	5.6	11,564
	電子材料	244,643	3.3	287,868	4.3	43,224
	酸化防止剤	206,729	2.8	170,465	2.5	△36,263
	防錆剤	38,267	0.5	37,691	0.6	△575
	染顔料中間体	17,663	0.2	17,260	0.2	△403
	その他	900,476	12.4	988,792	14.7	88,315
	(小計)	6,535,954	89.1	5,917,029	88.1	△618,925
ホーム産業事業	木材保存薬剤	661,876	9.0	663,971	9.9	2,095
	D I Y商品	42,088	0.6	36,210	0.5	△5,877
	その他	94,594	1.3	99,837	1.5	5,243
	(小計)	798,559	10.9	800,020	11.9	1,460
合計		7,334,513	100.0	6,717,049	100.0	△617,464

(注) 金額は、消費税等を含んでおりません。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期末(以下「当四半期末」という)の総資産は、前事業年度末(以下「前期末」という)比687百万円増加し、13,558百万円となりました。流動資産は同837百万円増の8,661百万円、固定資産は同146百万円減の4,882百万円、繰延資産は同3百万円減の14百万円となりました。

流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加額591百万円、たな卸資産の増加額202百万円、受取手形及び売掛金の増加額39百万円によるものであり、固定資産の減少の主な要因は、有形固定資産及び無形固定資産の減少額142百万円によるものであります。

当四半期末の負債は、前期末比547百万円増加し、9,783百万円となりました。流動負債は同15百万円減の7,153百万円、固定負債は同562百万円増の2,629百万円となりました。

流動負債の減少の主な要因は、短期借入金の減少額450百万円、賞与引当金の減少額38百万円、支払手形及び買掛金の増加額153百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加額200百万円、未払法人税等の増加額98百万円などによるものであり、固定負債の増加の主な要因は、長期借入金の増加額616百万円、リース債務の減少額65百万円などによるものであります。

当四半期末の純資産は、前期末比140百万円増加し、3,775百万円となりました。この増加の主な要因は、四半期純利益が146百万円計上されたこと、その他有価証券評価差額金が5百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は27.8%となりました。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)の業績予想については、平成23年11月10日付「業績予想の修正」において公表した数値で概ね推移するものと見込まれることから、修正を行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,232,603	2,823,841
受取手形及び売掛金	2,276,233	2,315,848
商品及び製品	2,789,689	2,993,811
仕掛品	171,284	102,352
原材料及び貯蔵品	302,374	369,501
その他	70,958	74,340
貸倒引当金	△19,274	△17,833
流動資産合計	7,823,870	8,661,863
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,144,486	1,056,004
土地	2,980,462	2,980,462
その他(純額)	653,642	610,359
有形固定資産合計	4,778,591	4,646,826
無形固定資産		
投資その他の資産	52,768	41,848
投資有価証券	99,139	92,202
その他	118,485	120,909
貸倒引当金	△19,416	△19,056
投資その他の資産合計	198,208	194,055
固定資産合計	5,029,568	4,882,730
繰延資産	17,465	14,021
資産合計	12,870,904	13,558,615
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,428,262	1,581,993
短期借入金	4,400,000	3,950,000
1年内返済予定の長期借入金	815,424	1,016,398
未払法人税等	19,193	118,045
賞与引当金	63,971	25,785
その他	442,405	461,350
流動負債合計	7,169,256	7,153,573
固定負債		
社債	250,000	250,000
長期借入金	963,427	1,579,475
退職給付引当金	262,082	279,903
環境対策引当金	2,172	2,172
その他	589,515	518,334
固定負債合計	2,067,196	2,629,884
負債合計	9,236,453	9,783,458

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,155,352	2,155,352
資本剰余金	1,052,562	1,052,562
利益剰余金	432,630	578,810
自己株式	△13,763	△13,813
株主資本合計	3,626,782	3,772,912
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,668	2,244
評価・換算差額等合計	7,668	2,244
純資産合計	3,634,450	3,775,156
負債純資産合計	12,870,904	13,558,615

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	7,334,513	6,717,049
売上原価	5,975,479	5,382,439
売上総利益	1,359,034	1,334,609
販売費及び一般管理費	841,342	901,825
営業利益	517,692	432,784
営業外収益		
受取利息	118	61
受取配当金	2,366	2,911
受取賃貸料	25,104	25,067
その他	8,067	9,063
営業外収益合計	35,655	37,104
営業外費用		
支払利息	96,978	88,427
その他	60,444	40,745
営業外費用合計	157,422	129,172
経常利益	395,925	340,716
特別利益		
貸倒引当金戻入額	7,119	—
特別利益合計	7,119	—
特別損失		
固定資産除却損	—	74,524
環境対策引当金繰入額	2,172	—
環境対策費	—	5,980
特別損失合計	2,172	80,504
税引前四半期純利益	400,873	260,211
法人税、住民税及び事業税	6,180	114,031
四半期純利益	394,692	146,180

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（5）重要な後発事象

該当事項はありません。